



## ★子どもにとってわかりやすい手順書にするために★

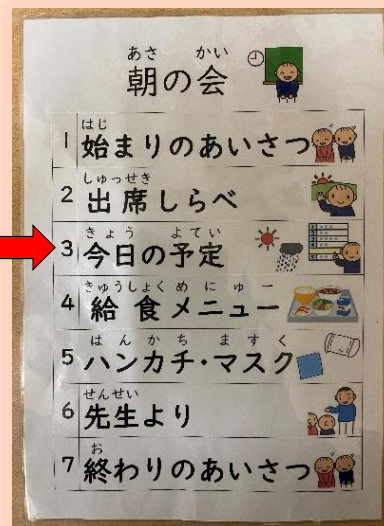
よく使われている手順書に歯磨きや手洗いなどの日常生活の手順を示したもの、制作や調理など作り方を示したものがああります。手順書は子どもが一連の動作や過程に見通しを持ったり、一つひとつの行為や作業を確認したりするために有効で、活用を通して、わかってできることや自分でできることにつながります。子どもの理解の仕方や認知の特性に合わせた手順書を用いることで、より理解しやすく、一人で自信を持ってできることにつながります。

### 写真とイラスト

歯磨きの手順書です。写真が理解しやすい場合には写真で、イラストが理解しやすい場合はイラストで、手順と磨く箇所を示しています。また、文字を読んで理解できる場合は、文字で示すこともあります。



### 一覧表とめくり式



人の認知の仕方として、同時処理と継次処理があります。その子の得意な認知の方法に合わせて提示することで、より理解がしやすくなります。同時処理が得意なら全体を提示する一覧表、継次処理が得意なら1つの手順ごとに提示するめくり式がとわかりやすいといわれています。



裏面には司会の台詞。これを見ながら司会進行をします。

手順書は見せるだけで理解できるものではありません。今しているところに矢印や枠をつける、終わったものは外す、ひっくりかえす等して、今何をしているか、あとどれだけかを分かるように示すことが大切です。また、手順書と照らし合わせながら実際の行為や作業をして見せることも大切です。

